



ボランティア部門 《食育推進ボランティア》

消費・安全局長賞

きょうと食いく先生

(京都府) 活動期間 4年

食と命の大切さを伝えるための出前授業による食育の推進

若い世代を中心とした食育の推進

命と食の大切さを学ぶには、農作業や食品加工、調理等の五感を使った体験が効果的であると考え、平成25年より、指導していただける方を「きょうと食いく先生」として京都府が認定し、小中学校を中心にあらゆる世代への出前授業による食育に取り組んでいます。これまでに京野菜等の農作物の栽培や、京料理をはじめ和食・洋食の調理、京菓子・京つけもの・豆腐づくり等、多方面にわたる179名の登録があり、年間124回、のべ1,880人に対して実施しました。



小学校での出前授業（和菓子と季節の話と和菓子づくり）

ニーズに応えた出前授業

小・中・高等学校等の総合学習や家庭科、国語科の時間等、依頼先のニーズに応えた出前授業を実践しています。様々な分野の専門家として、実践的な指導ができていることから、子供たちの食育に重要な役割を果たしています。



小中学校での出前授業（地域の味噌の話と味噌汁づくり）



小中学校での出前授業（生野菜の種まき体験）

指導者への研修

食いく先生養成講座は、スキルアップ研修として既に登録されている食いく先生も参加します。食育関係者の講演を聴いたり、意見交換をしたりすることで、最新の食育情報を得るとともに継続的に指導力養成を行っています。



講演：学校がきょうと食いく先生に期待すること



10名の登録でスタートした「きょうと食いく先生」が、4年を経て、これまでに179名の登録となりました。食いく先生一人ひとりの思いのこもった活動が、子供たちの生きる力、文化や伝統を大切にする心を育むことを願っています。

この度、表彰していただいたことを励みに、府民自ら実践する食育が益々広がるよう、活動して参ります。

きょうと食いく先生